



都志見新聞

(医)医誠会都志見病院
http://tsushimi.jp

発行部数 500部
発行月 1, 4, 7, 10月
発行人 都志見病院
広報委員会

40歳を過ぎたら

WELCOME

健診・がん検診を受けましょう!!

※自覚症状がある人、該当のがんで治療や経過観察中の人は専門医やかかりつけ医に相談しましょう。

	萩市	阿武町
検診が受けられる人	萩市国保・後期高齢者 社会保険扶養者	阿武町国保・後期高齢者 社会保険扶養者または本人
実施期間	12月25日(水)まで	1月31日(金)まで
予約受付窓口	時間：午前10時30分～午後3時 (前日の予約は12時まで) 場所：健診室(東館1階) 電話：0838-22-3090 <small>※人間ドック・胃カメラ(萩市任意検査)の予約は終了しました。ありがとうございました。</small>	

女性は2年に1回 乳がん・子宮がん検診を!!

どのがんも、何歳でもかかる可能性があります、
女性がかかるがんの第1位は「乳がん」です。(子宮がんは第5位)
乳がんにかかる年齢は、40代後半と60代がピークです。
子宮がんは、20代後半から増えはじめ、50代前半にピークを迎えます。

当院では、マンモグラフィと併せて超音波検査を行なっています。
視触診ではみつからない小さなしこりを発見できるだけでなく、
その形や境目の性状、内部の構造まで確認することができます。
マンモグラフィだけでは見つけにくいがんも発見しやすくなります。

※検査の際、女性技師を希望される方はご相談ください。

子宮がん検診は、受付から診察まで、女性のみで対応しています。

がん検診で必ずがんを見つけられるわけではありません。

がんがなくても、検診の結果が「がんの疑い」となる場合があります。



-シリーズ- “がん”について知っておこう 『肝がん』

肝がんは90%が肝細胞がん、5%が肝内胆管がんであり、一般的に「肝がん」は前者を指します。肝細胞がんの約8割はB型・C型ウイルス性肝炎から発生し、残りはアルコールや非アルコール性脂肪肝炎(後述)が原因です(図1)。分布地図を見ると西日本で死亡率が高く、西日本はC型肝炎の発生数が多いため、肝がんも同じような分布になっています(図2)。2017年にがんで死亡した方の第5位に位置します(図3)。

図1 肝がんの背景・原因



図2 肝がん死亡者の地理的分布

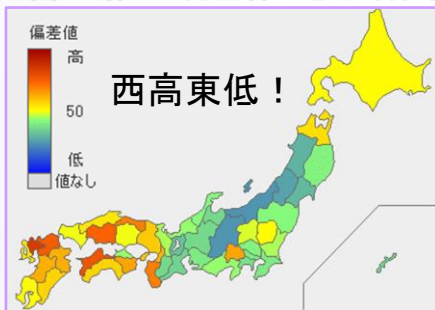


図3 2017年のがん死亡数の多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	胃	大腸	肝臓	膵臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

今後、B型・C型肝炎ウイルスに対する内服の抗ウイルス薬治療によってウイルスに起因する肝がんは減少していくと思われます。とくにC型肝炎ウイルスは9割以上で完全駆除が期待できます。しかし近年では肥満、脂質異常症、糖尿病などを原因とする脂肪肝が増加しており、わが国では脂肪肝が約1500万症例、その10%程度が炎症を起こし脂肪肝炎へと進行し、さらにその10%程度に肝硬変や肝細胞がんを発症すると想定されています。

肝細胞がんの治療は、慢性肝炎や肝硬変を伴っていることが多いため、がんの大きさ、個数だけでなく、肝臓の予備能を考慮して治療方針を決定する必要があります。

基本的には「科学的根拠にもとづく肝癌治療ガイドライン」に沿った治療計画を実施し、患者さん一人一人に最適と考えられる治療法(肝切除術、局所療法、肝動脈塞栓化学療法、全身化学療法、肝移植)が選択されます。

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ初期症状は現れず、かなり進行するまで症状は出ません。定期的な検診で、がんが小さい無症状のうちに発見をすることが大切です。

外科医師 坂本 和彦



Kazuhiko Sakamoto
日本肝胆膵外科学会 高度技能専門医

『第14回 出前講座in山田』開催のお知らせ

『令和』初の“出前講座”を山田地区で開催させていただくこととなりました。講演はもちろんのこと、看護師による血圧測定、がんに関する様々なパンフレットの配布、患者サロン“たいだい”のご紹介も行っております。

入場は無料! どなたでもご参加いただけます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

◆日時:令和元年 7月6日(土) 10:00~11:30

◆場所:白水会館

◆テーマ:“がん”について知っておこう

都志見病院 第14回 出前講座

“がん”について知っておこう

日時 令和元年 7月6日(土)
10:00~11:30 (9:30開場)

会場 白水会館
入場無料・申込不要
多人数参加の場合は、主催者と事前打ち合わせ下さい。

プログラム

- 講演1 知っ得! 納得!!「がん診療」
副院長 山本達人
- 講演2 野菜を食べて免疫力アップ
管理栄養士 兼本慈子
- 講演3 がんと向き合う
患者サロンの「たいだい」代表 岡野芳子

質疑応答

看護師による 血圧測定 | パンフレット 展示 | 患者サロン “たいだい” について

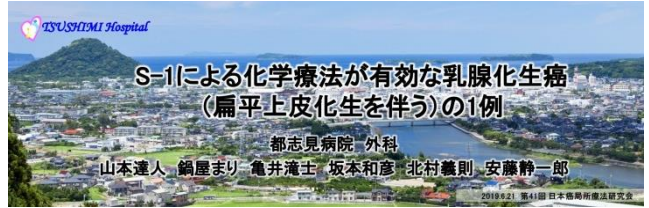
〒920-0202 石川県能登郡志見町 都志見病院 電話0763-22-2611 代表 坂本



学会発表をしてきました!!

第41回 日本癌局所療法研究会 in 岡山

外科の山本医師が『S-1による化学療法が有効な乳腺化生癌(扁平上皮化生を伴う)の1例』という演題で発表してきました。



第64回 日本透析医学会学術集会 in 横浜

臨床工学部の小室技士が『患者を交えた災害訓練を実施して』という演題で発表してきました。

患者を交えた災害訓練を実施して

医療法人 医療会 都志見病院 透析室
1) 小室 みさき 中野 賢治 野村 知由樹 松本 優
末廣 晃一 齋藤友貴
2) 松浦 由美子 山影 真弓



第29回 日本臨床工学会 in 盛岡

臨床工学部の松本技士が『臨床工学技士が企業と連携しME器機管理ソフトの開発に関わった一例』という演題で発表してきました。

臨床工学技士が企業と連携しME機器管理ソフトの開発に関わった一例

医療会都志見病院 臨床工学部
○松本 優 野村知由樹 齋藤友貴 末廣晃一
小室みさき 中野賢治 田村知生
株式会社イーレ 松本幸一

院内感染対策全体研修会を行いました!!

テーマ

「～消毒薬使用上の留意点～ その使い方!!大丈夫??」

場所 7階会議室 対象者 全職員

日時 6/24(月)・6/26(水)・7/2(火) 17:15～18:00

研修会は、医療に関連した感染のリスクや、正しい消毒薬の使用方法、手指衛生の重要性についての内容でした。この全体研修会は、医療の安全対策上および患者サービスの質を保つ上で重要なものです。医療に従事する者全員が当たり前のこととして医療関連感染対策に取り組むことができるよう、職員の感染対策に対する意識向上につとめていきたいと思います。

感染管理認定看護師 奥川広子

講師 医療安全部 薬剤部長 玉一寛之



停電点検を実施しました!!



停電実施前のミーティングの様子

5月26日(日)午後から館内停電点検が実施されました。これは、年に一度、館内を全停電し受変電設備を点検するもので、法令により定められた点検です。

停電による患者さま、ご面会者さま等への影響に備え、職員約40名が休日出勤し対応にあたりました。

皆さまには大変ご不便をおかけいたしましたがおかげさまで事故もなく終了することができました。ご協力ありがとうございました。



受賞おめでとうございます！

『日本看護協会長表彰』を頂きました!! 看護部長 小西 恵



「日本看護協会」は、全国75万人の看護職の職業団体です。毎年、通常総会が開催され、令和元年は初めて北海道の地、函館で開催されました。令和元年の記念すべき節目の年の「日本看護協会長表彰」を頂きました。全国141名、山口県では2名の受賞でした。私は昭和57年に看護師資格、昭和58年に助産師資格を取り、日本看護協会の会員になり、看護協会の役員も沢山させていただきました。永年、助産師という仕事が続けられたのは、院長先生をはじめ職場の皆さんや家族のお蔭だと感謝いたします。この受賞を糧に、さらに今後も精進していく所存です。これからも宜しくお願い致します。



看護部職員による祝賀会の様子



病院職員山口県病院協会より表彰されました!!

透析室 松浦 みどり

この度は、身にあまる表彰をいただきました。ありがとうございました。



“心に残る看護場面” 発表会

5月29日に会議室で行われました。新人としての1年間で「心に残った場面」をまとめました。プリセプターさんからの励ましのメッセージも頂き、心に浸みました。今年は先輩です、一緒に頑張りましょう!!



3階 高光
先輩の患者様との関わりから学んだこと



手術室 山本
救急搬送で来院された患者様との関わり



3階 早川
腹水濾過濃縮再静注法を受けていた患者様との関わりで僕が学んだこと



5階 高田
急変時の対応で学んだこと



透析室 今本
初めての穿刺、患者様からの励ましの言葉



東3階 横田
エンゼルケアを通して学んだ“寄り添う看護”



まちの保健室開催



看護の先駆者、ナイチンゲールの生誕にちなみ、毎年5月に「看護の日」のイベントを開催しています。今年も5月15日(水)に本館1階玄関待合室で、健康相談・

健康相談・
血圧測定・体脂肪測定・
血管年齢測定などを行い、
延べ149名の方が立ち寄られました。
中でも、血管年齢とアロマを使用したハンドマッサージが好評でした。



看護の日

ポスターで部署の紹介とアピール!!

外来の壁に掲示しております!!
待ち時間に是非ご覧ください。



東3階地域包括ケア病棟
自作のキャラクター!
いろんな場面の写真が楽しめます

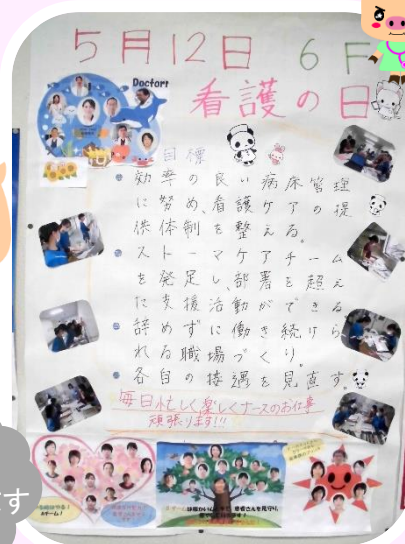


外来
科別で受診に役立つ
“症状”が書いてあります



手術室
安心・安全を…
真心こめて提供します

6階病棟
目標を真ん中に!
「白衣の戦士」頑張ります



透析室
『透析治療』
自己管理の大切さを伝えたいです

3階病棟
笑顔あふれる看護をめざしています
～心癒される絵ですね～



5階病棟
職員のチームワークで頑張ります



No.8

膝痛のケア なぜ膝に水がたまるの？



ヒアルロン酸関節注射

前回までのコラムでは、「膝痛の原因の多くは筋・筋膜にあります」とご紹介させていただきました。変形性膝関節症には、五十肩のように軽い関節炎を伴うことが多く見られます。この関節炎に伴う疼痛に対しては、筋膜治療は直接的な効果を上げることが困難です。やはり医師による抗炎症効果のあるヒアルロン酸関節注射が効果的です。よく膝関節に“水を抜いてヒアルロン酸を打ってもクセになるだけで、、”という意見を耳にしますが、それは間違いです。変形性膝関節症では、関節変形に伴い潤滑油としての関節液が増えます。異常に増えてしまった結果として、関節が腫れているように見えます。炎症が強いうちは疼痛を伴いますが、炎症が改善していくにつれて、関節液が貯留していても疼痛は無くなっていきます。その後引き続き残る疼痛の多くは、筋膜の原因によるものが多いのです。また外傷等の誘因に心当たりがないのに関節液が貯留するようになる方が多くいらっしゃいます。本来ねじれる場所である足関節や股関節～腰部が硬くなり、膝が異常にねじれるようになった結果、膝関節の炎症を引き起こします。リハビリでは、下腿や臀部から腰部の筋膜治療を介して、本来必要なねじれのある箇所を整え、歩いて治していきます。“歩かずして膝は治らず”です。リハビリテーション部スタッフは笑顔と感謝をもって患者様をお迎えしております。痛みのことなら何でもご相談くださいませ。



患者サービス向上委員会主催

『オカリナコンサート』

6月4日(火)14～15時 東館1階待合室で、音空流(おんくる)の皆さんによるオカリナコンサートが開催されました。日頃あまり聞くことのないオカリナの音色に心癒され、そして患者様・ご家族、職員が演奏に合わせ共に歌い、皆で楽しいひと時を過ごしました。



ソフトボール大会に参加してきました!!



6月3日(月)、商工会議所主催、事業所対抗ソフトボール大会に参加致しました。結果は惜しくも初戦突破とはなりませんでしたが、職員同士の仲を深めるよい機会となりました。また、応援にかけつけた職員も一緒になって楽しむことが出来ました。

